

株式会社 D M I
107-0062 東京都港区南青山5-4-27
Barbizon104 6F

次亜塩素酸水に関する 製品評価技術基盤機構(NITE)の追加発表について

令和2年6月3日、NITEより補足となるQ&Aが発表されました。

NITEが行う新型コロナウイルスに対する消毒方法の有効性評価について
～よくあるお問い合わせ(令和2年6月3日版)～

<https://www.nite.go.jp/information/osirasefaq20200430.html>

この中で、次亜塩素酸水の新型コロナウイルスに対する効果検証試験は十分なデータが集まっておらず継続して試験を実施することや、塩素濃度49ppm(pH5.0)では、20秒で感染力を1000分の1まで減少させた例があったことが明記されました。

次亜塩素酸水の空間噴霧に関しては、今回の有効性評価は、アルコール消毒液の代替となる身の回りの物品の消毒方法の評価が目的で、空間噴霧のシステムは評価対象ではないとの回答があり、また、次亜塩素酸水の噴霧は有害だとする内容でもないことが明確となりました。

これによって、空間への次亜塩素酸水の噴霧に関する、これまでの研究のエビデンスが否定されたわけでもなく、これからも新たな除菌システムの一つとして研究が重ねられることを期待しています。

このような追加の発表があったことは非常に喜ばしいことであり、偏重した情報に対しての有識者の危惧が高まった結果かと存じます。

また、北海道大学にてNITEの中間報告対象と同じ条件下で試験をした結果、塩素濃度40ppm(pH5.5)の次亜塩素酸水が新型コロナウイルスを30秒で不活化させたという発表もありました。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000003.000056737.html>

様々な報道がある中、正しい情報の発信の積み重ねで、感染症に対する新しい生活様式の有効性を実証されている研究者の方々の姿勢には、心より敬服いたします。

弊社も引き続き国民の皆様新しいガイドラインが示されることを心待ちにしております。